

令和4年5月1日発行
(2022年)

発行:二本松市議会

編集:議会だより編集委員会



予算審査特別委員会全体会



総務市民分科会

消防設備等整備事業
(正法寺町屯所予定地)

各分科会の現地調査

予算審査特別委員会 … P.2～3
定例会概要…………… P.4～5
代表質問・一般質問… P.8～13



産業建設分科会

新規就農者支援事業
(東新殿)



文教福祉分科会

岩代総合文化ホール
管理運営経費

住み良い二本松市実現のための予算を可決

予算審査特別委員会で新年度予算案を審査

新しい「総合計画」がスタートして2年目を迎える令和4年度予算を審査しました。

予算の決め方や使われ方について、当局への質疑と委員間での討議が行われました。審査の一部を紹介します。

一般会計予算

病後児保育事業

問 こおりやま連携中枢都市圏の病児保育施設が、広域で利用できるように体制をつくったということだが、これまで病後児を預けることに支障があったりしたため、ネットワークを新たに構築したということか。

答 郡山市と病児保育事業の広域利用に関する協定を締結し、郡山市が実施する病児保育事業を二本松市民も利用できる体制を整備するものであり、郡山市内の病院で実施している病児保育を利用することができるので、市内でも実施しているところはあるが、郡山市に通勤している保護者の利便性の向上を図るため事業を実施するものである。

放射能除染事業

問 仮置場等原状回復業務委託料5億6,500万円について、どの程度の箇所数を見込んでいるのか。また、令和4年度完了の見込みでいいのか。

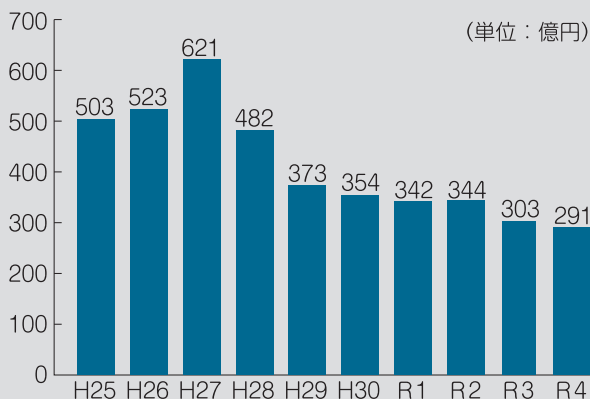
答 仮置場の撤去・原状回復分として20か所程度見込んでおり、大規模仮置場が1か所1,000万円を見込み5か所分、小規模仮置場は500万円で見込み15か所分、積込場については大規模な積込場として、4億円を見込み1か所分、小規模の積込場は1,000万円で見込み4か所分、合わせて5億6,500万円となっている。また、令和4年度に持ち越すところが、石井地区の積込場と、そのほか地権者から了解を得られていない仮置場が数か所あるが、石井地区の積込場以外については令和4年度完了の見込みであり、石井地区の積込場についても早期に原状回復等できるよう努めたい。

連携中枢都市圏推進事業

問 こおりやま圏域と福島圏域の予算額の違いは。

答 こおりやま圏域については、多言語ウェブサイト運用費用として13万6千円、郡山広域観光協議会負担金として10万4千円、広域ガイドブックの作成負担金として10万6千円、シティープロモーション推進事業の参加負担金として5万円である。また、福島圏域では、移住定住促進協議会負担金42万1千円、婚活事業である出会いの場の創出事業負担金として11万4千円、道の駅直売所デジタルスタンプリー事業負担金として45万8千円となっている。

一般会計当初予算額の推移



予算規模

会計区分	予算額 (単位：千円)		比較
	令和4年度予算額	令和3年度予算額	
一般会計	29,119,664	30,314,199	▲1,194,535 (▲3.9%)
特別会計	12,706,985	12,350,954	356,031 (2.9%)
企業会計	6,005,642	5,921,512	84,130 (1.4%)



地元の食材を使った給食



給食に使う地元産の野菜



石井10区積込場

水道事業会計予算

経営管理費

問 水道料金及び下水道使用料料金体系等検討業務委託料により、令和4年、令和5年、2か年かけて料金体系の統一を図ることになると思うが、統一した料金については、令和5年度に示すのか。

答 委託料については、企業会計の専門的知識を有するコンサルタントにより、2か年をかけて今の上下水道の経営状況、料金の現状、課題の整理等、財政見通しの検討も含めた料金体系の検討業務と資料等の作成を委託するものであり、その資料を用いて料金統一、料金改定の審議会等において慎重な審議を行い、十分時間をかけて検討した後に料金を示すことになる。

二本松地域小学校給食経費等

問 地産地消の観点から市内県内からの材料調達ほどの程度か。

答 毎年2回、県による地場産品の使用率の調査が行われ、市では30%前後の使用率となっている。使用率は震災以降低迷していたが、今は、震災前と同等の水準まで戻ってきている。

意見 地域の産業振興にもつながるため、材料の地産地消を拡充してほしい。

二本松城跡調査事業

問 二本松城跡発掘調査報告書印刷費と測量設計委託料はどこか新しいところを発掘するのか。

答 二本松歴史館の北側で民間の家屋が立っていたところに建設部でイベント広場を拡張するという計画があり、その開発行為に先立って発掘調査をするものである。

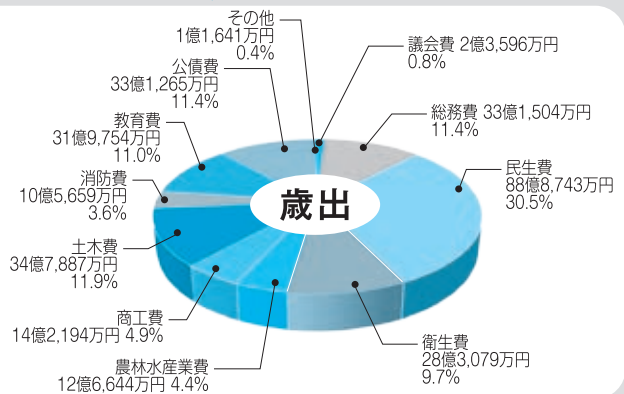
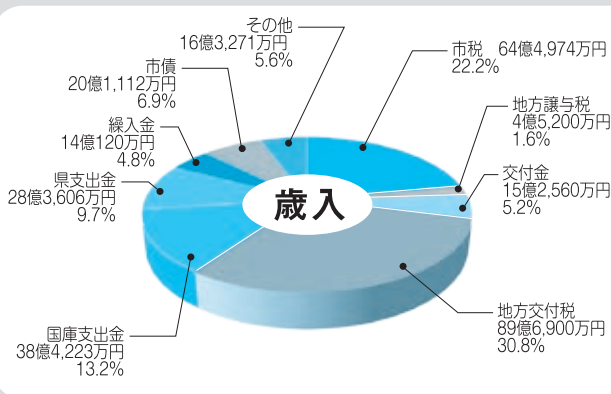
農地集積・集約化対策事業

問 現地確認のため、タブレット端末の整備を行うとのことだが、それにより今後、非農地対応をどのように進めていくのか。

答 タブレットには地図情報とGPS機能が入っているので、基本的には農業委員と農地利用最適化推進委員の2名でペアになって、現地を確認することになる。中山間地で非農地判定を行っているが、現地まで行けない農地などがあり実際に目で確認できないところも、タブレットにより自分の位置と確認すべき農地の位置関係がはっきりするので、近くまで行けない農地についても、非農地の判定を行うことができるようになり、非農地の判定がかなり進んでいくものと考えている。

令和4年度一般会計

当初予算 291億1,966万円



新年度各会計予算案など市長提出議案29議案を可決

令和4年度各会計予算案は、予算審査特別委員会において延べ7日間にわたる審査が行われた後、本会議で可決されました。令和4年度の一般会計当初予算総額は291億1,966万4千円で、前年度対比で11億9,453万5千円、率にして3.9%の減となりました。

議案第5号

福島市及び二本松市におけるふくしま田園中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について可決

本圏域は、東京圏からのアクセスが良く、都市としての高い生活機能と利便性を持ちながら、豊かな自然と農村が織りなす田園を併せ持ち、温かみのある地域社会が形成された中で、ゆとりのある生活をおくることができる圏域であり、南東北の要の都市圏としてさらなる発展を目指していく必要があります。

【連携を図る取組】

1. 圏域全体の経済成長と復興創生のけん引

高速交通網の利便性の高さや高等教育機関の集積、多様な農産物、豊富な観光資源等の強みや特長等を十分に生かし、産学金官民の様々な主体が連携しながら産業基盤の強化や風評払拭等を図るなど、圏域全体の経済成長と復興創生をけん引します。

2. 圏域全体へ経済効果等を波及させる高次の都市機能を集積・強化

本圏域はもとより、福島県全体の定住・交流の拠点となる福島駅東口地区市街地再開発と交流・集客拠点施設の整備や広域道路網の形成など、圏域全体へ経済効果等を波及させる高次の都市機能の集積・強化に取り組みます。

3. 暮らしやすい住みたくなる魅力あふれる圏域づくり

地域医療、福祉、子育て・教育環境、文化・スポーツ、災害対策、地域公共交通、公共施設の相互利用など圏域全体の生活関連機能の維持・向上を図り、豊かな自然環境の中で快適で安心・安全に暮らせる魅力あふれる圏域づくりに取り組みます。

議案第6号

二本松の酒で乾杯条例制定について可決

二本松市の水や農産物により本市において製造された清酒その他の酒類による乾杯を推進することにより、二本松の酒の普及を通じた地産地消の促進及び郷土を愛する社会的気運の醸成に寄与するとともに、産業の振興及び地域の活性化を図ることを目的に制定するものです。



二本松4酒蔵の酒とワイン

人権擁護委員候補者の推薦

佐藤 泰子さん(古家・新任) 安在 政晴さん(下川崎・再任)
大原 弘行さん(戸沢・再任)

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第5号	福島市及び二本松市におけるふくしま田園中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について	原案可決
第6号	二本松の酒で乾杯条例制定について	原案可決
第7号	二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第8号	二本松市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第9号	二本松市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第10号	二本松市営プール条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第11号	工事請負契約の変更について	原案可決
第12号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決
第13号	令和3年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第14号	令和3年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第15号	令和3年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第16号	令和3年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第17号	令和3年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決
第18号	令和4年度二本松市一般会計予算	原案可決
第19号	令和4年度二本松市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第20号	令和4年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
第21号	令和4年度二本松市介護保険特別会計予算	原案可決
第22号	令和4年度二本松市土地取得特別会計予算	原案可決
第23号	令和4年度二本松市公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決
第24号	令和4年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計予算	原案可決
第25号	令和4年度二本松市茂原財産区特別会計予算	原案可決
第26号	令和4年度二本松市田沢財産区特別会計予算	原案可決
第27号	令和4年度二本松市石平財産区特別会計予算	原案可決
第28号	令和4年度二本松市針道財産区特別会計予算	原案可決
第29号	令和4年度二本松市小手森財産区特別会計予算	原案可決
第30号	令和4年度二本松市工業団地造成事業会計予算	原案可決
第31号	令和4年度二本松市宅地造成事業会計予算	原案可決
第32号	令和4年度二本松市水道事業会計予算	原案可決
第33号	令和4年度二本松市下水道事業会計予算	原案可決

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について	原案可決

○議員提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第1号	ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議	原案可決
第2号	消費税のインボイス制度の実施見送りを求める意見書の提出について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第1号	消費税のインボイス制度の実施見送りを求める請願	採 択
第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出請願書	採 択
第3号	「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める請願書	不採択

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

福島市及び二本松市におけるふくしま田園中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議等について

○福島市及び二本松市におけるふくしま田園中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について

問 隣接する市町村との連携協約を締結することのメリットはどのようなものなのか。また、複数の連携協約に加入した場合の特別交付税措置はどうか。

答 共同で事業を実施することで、特別交付税措置が受けられることや広域内市町村職員による合同研修会もあり参加する職員の資質向上が期待される。また、複数の連携協約に参加しても特別交付税措置は1,800万円が上限となる。

○令和3年度二本松市一般会計補正予算

問 名目津温泉管理運営経費について、新型コロナウイルス感染症対策指定管理者支援金の積算根拠は、

答 今年度の指定管理料を含めた収入見込額1,983万円と、支出見込額2,100万円との差額の90%を支援金としている。

問 常備消防費について、安達地方広域行政組合消防費負担金の他市村の負担額は、

答 本宮市が139万6千円、大玉村が46万9千円である。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

二本松の酒で乾杯条例制定、一般会計補正予算について

○二本松の酒で乾杯条例制定について

問 市民への周知方法は。また、条例第2条に「市は、二本松の酒による乾杯の推進に必要な措置を講ずるよう努めるものとする。」との条文があるが、具体的には何を行うのか。

答 市民への周知については、市の広報紙及びウェブサイトへの掲載、イベントでのチラシの配布、商工団体を通じての周知等を行う予定である。また、具体的な支援内容については、4酒蔵でのGI取得の支援や商工団体で開催される酒まつりのイベントへの財政的支援等を行っていきたいと考えている。

○令和3年度二本松市一般会計補正予算

問 福島県沖地震による被災住宅修理支援事業につ

いて、これまで何件の修理が完了し、何件の修理が終わっていないのか。

答 補助金として完了した件数は半壊以上14件、準半壊36件、一部損壊182件である。修理費として業者へ支払った件数は、半壊以上15件、準半壊31件であり、これから補助する件数は105件である。



机上審査の様子

3月3日に付託された各議案は、3月15日に各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日22日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算について

問 温泉等利用健康増進事業について、2,468万2千円繰り越すが、当初予算と比較し770万円程度しか使われておらず、コロナ関係で利用率が低かったと見込んでいるのか。

答 コロナ禍による要因が1番大きかったと認識している。前年度分も繰り越しているが、令和2年12月までの執行も754万円程度、率にして23%で、3年度分も率にすると24%である。2年度分と3年度に繰り越した分を合わせ、全体で57%の執行状況であり、最終的にはおおむね60%になる見込みと思われる。

問 教育費の感染症対策事業について、2,250万円繰り越すが、その内容とこの繰越予定額になる理由は。

答 感染対策をする上で必要な備品等購入を各学校長に依頼し、市から補助金を交付する事業で、さらなる感染対策のための事業費である。国の補助金決定が今月となったもので、事前に着手はできず決定後となるため、一度に執行できないことから全額繰越しをするものである。

討議 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業については、令和4年6月まで延長されたことから、再度周知して支援すべきである。

障がい福祉サービス事業については、障がい者の雇用の場を広げることにもなるので、今後も働く場所が増えるよう働きかけてほしい。

安達地方特別支援学校敷地造成事業については、1日でも早く完成させ、児童生徒が使用できるようにしてほしい。



机上審査の様子

予算審査特別委員会

議案などを専門的、合理的、能率的に審査する常設の常任委員会のほかに、特定事件を審査するために特別委員会を設置することができます。

3月定例会では、令和4年度各会計予算を審査するため、予算審査特別委員会を設置しました。3月8日及び9日に、全体会で机上での総括審査を行った後、分科会に分かれ質疑・討議が行われました。



代表質問・一般質問

市の明日を考える!

3月定例会では、3月3日に5会派5人の議員が市政に対する代表質問を行いました。また、3月4日及び7日の2日間にわたり、10人の議員が一般質問を行いました。今定例会でも、新型コロナウイルス感染症対策として、長時間の三密を避けるため、質問時間を一人40分以内に短縮し議論が展開されました。

主な質問については、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載いたします。

[発言順]



質問者ごとにQRコードを掲載しています。
スマートフォンなどで読み取っていただきますと、録画映像をご覧いただけます。



平塚 與志一

[真誠会]

代表質問

市長に当選され、重点的に進める事業は何か
市が所有する建物管理の改革すべき点は何か

問 5期目の市長に当選され、4年間の重点施策及び重点的に進める事業は何か。

答 これからのまちづくりは、加速化する人口減少、経済のグローバル化や高度情報化社会、そして、多様化するライフスタイルや市民ニーズへの対応など、社会経済環境の変化にしっかりと対応し、市民の暮らしの基盤を確かなものにしていくことが重要と考えている。大局的な視点に立ち、各分野が横断的に連携して施策を推進させながら「総合計画」に掲げる目標、そして事業を着実に進め、

現任期のみならず将来を見据えた二本松市を創造していく。

問 市が所有する建物は相当ある。指定管理者に管理を依頼しているが、管理料金、維持経費など改革すべき点があると思うが。

答 指定管理制度は、施設の維持管理に民間事業者のノウハウを活用することで、市民サービスの更なる向上や維持経費の節減を図ることを目的としており、現在25施設ある。効率的な施設運営や指定管理料の節減につなげられるよう鋭意努力している。

代表質問

地域福祉計画策定の取り組みは
保育所施設整備事業は



本多 俊昭

[令和創生の会]

問 地域福祉は、多岐にわたるため、福祉部だけでなく多くの関係部署、関係団体等が関わることから対象者と担い手について伺う。

答 公的福祉サービスに加えて、地域住民の力と高齢・障がい・子育て・生活困窮といった様々な社会福祉の担い手、保健・医療・教育などの分野も含めた多職種の連携により、ともに支え合う地域福祉の推進が必要であり、新たな担い手の確保や、核となるリーダーの育成、ボランティアやNPOとの連携が重要であると捉える。

問 令和5年4月から認可保育所が開園するが、これで全ての待機児童は解消されるのか伺う。

答 民間の保育事業者への支援、連携により、保育施設の定員拡大を図ってきた。それにより待機児童は年々減少してきている。待機児童ゼロを目標にするとともに、さらに年度途中からの利用や育児休業後の利用がしやすくなったり、兄弟が揃って同じ施設を利用でき、また、自宅や職場から近い保育所を利用できるなど、柔軟な対応が可能になるものと期待している。



野地 久夫

[市政刷新会議]

問 二本松城の復元整備とは何か。

答 二本松城の復元整備は、「史跡二本松城跡保存活用計画」を策定し、「二本松城跡整備基本計画」で具体的整備方針を検討する。現時点で復元の明確な整備方針はない。文化庁の指導の下で粛々と進めることが重要である。

問 新たな工業用地（団地）創設の考え方は。

答 長命工業団地がある程度の完売見通しが立った段階で、次の産業団地整備に着手したいと考え、現在複数の候補地の検討を進めているところである。

代表質問

二本松城跡総合整備事業の内容は 二本松市の雇用の場の確保策は

工業団地整備には多額の資金が必要で企業の立地動向が重要であり、整備手法については先行造成だけでなく、オーダーメイド方式も検討する。



企業進出が進む長命工業団地

代表質問

切れ目ない防災対策は 学校と家庭、地域が連携した教育の推進は

問 消防団機能別団員の採用はどうするのか。

答 団員定数見直しによる消防力の低下を防ぐため、令和4年4月から機能別団員の設置を行うこととしており、活動内容は、初期消火活動及び後方支援等を想定しており、資格要件は、過去に消防団員としての経験を有する方またはこれに準ずる方としていることから、近年、多発化、激甚化する災害現場での即戦力として活躍を期待しているところである。

問 コミュニティ・スクール導入の背景は何か。



安齋 政保

[市政会]

答 平成29年3月に一部改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会、いわゆるコミュニティ・スクール導入が努力義務となり、それを受け小学校は昨年度から、中学校は今年度から実施となった新学習指導要領には、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会とが共有し、未来の創り手に必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現。



齋藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

問 市内の経済対策状況と市の経営持続化給付金の再支給の検討は。

答 市内金融機関の調査によると、令和3年10月から12月までの業況は依然マイナスに変わりなく、オミクロン株の急拡大で景気悪化は避けられない。支援金の再支給は現時点では考えていないが、支援を必要としている事業者には有効となるよう支援の在り方について検討する。

問 住民税非課税世帯等の10万円の給付対象者で申請が必要な「家計急変世帯」の対象は。

代表質問

市の経済対策は 18歳未満の国保税の均等割軽減は

答 任意の1か月の収入が減少した世帯で、給与収入で単身世帯93万円。扶養1名の場合で137万8千円、2名の場合168万円。本人が障がい者や寡婦、ひとり親の場合で204万円未満。

問 18歳未満の国保税の均等割（31,500円/人）の減免の令和4年の見込みと国の財政支援は。

答 433世帯732人1,899万円のうち、未就学児142世帯187人で231万円が財政支援される。なお、令和2年度実績は520世帯906人1,574万円。令和3年（1月末時点）460世帯779人。

一般質問

行政連絡員委託料の見直しと透明化推進 財務諸表の整備促進を図るべき



石井 馨

[令和創生の会]

問 行政連絡員（区長等）の委託料が近隣他市に比較して高額であり見直すべきではないか。また、現在は行政連絡員に対して、現金による一括支給が行われているが、透明性確保から行政区の口座への振込みにする考えは。

答 行政連絡事務委託料の支給は、行政連絡員に支給しており、委託料は1行政区当たり基本割40,000円プラス世帯割については世帯数にかけた金額で支給しており、特に高額ということはなく問題はない。口座への振込みについては検討していく。

問 ウェブサイトの財政状況の資料では、固定資産台帳が未整備となっているが、いつ完成するのか。また、地方公会計マニュアルでは、財務書類を平成29年度から公表するとしているが、平成30年度から公表されていないがいつ公表するのか。

答 固定資産台帳については、国の確認待ちだが、令和2年度から掲載していく。財務書類については、2年ごとにまとめて順次作成していく。



佐久間 好夫

[真誠会]

一般質問

公立こども園の入園状況は A E Dの設置状況は

問 公立こども園の入園の選考方法は。また、通園事情等は考慮するのか。

答 毎年11月に募集を行い、申し込みの際に入園希望こども園を第1希望～3希望まで選択しているが、保育の必要性が高い家庭から順に選考している。入園児定数は利用範囲内で入園を承諾している。また、通園に便利な施設を希望しても定数の関係で、特に低年齢児は希望に添えないこともある。

問 直近のA E D使用回数と設置場所の把握は。また、機器の耐用年数と更新、操作方法講習会は行って

いるのか。

答 過去5年で3回使用した。設置場所について、職員は施設管理者のもと徹底され認識している。また、機器については、5年間のリース契約を行い、5年経過後にさらに1年ごとの再リース契約を締結し、7年経過後に更新している。さらに、市職員等の操作方法講習会は、安達地方広域行政組合消防本部北消防署の協力で、3年に1回を目安に受講させている。

一般質問

米価下落対策支援金 反響と支援を受けられない方の対応は



鈴木 一弘

[市政刷新会議]

問 10アール当たり5,000円の支援金の反響は。本来の目的と支払い基準に照らして反響をどのように捉えているか。

答 「次期作に向け手助けとなり大変ありがたい」といった意見を多くいただいている。本市独自の緊急的な支援策で、次期作に向けた生産意欲の低下を防止する目的であり、市の支援割合は下落額の2割程度と定めたもので、令和4年産米の作付継続に向け、一定の効果があるものと捉えている。

問 支援金を受けられない方は何人で、「何故」というような問い合わせはなかったか。

答 「収入保険」「ナラシ対策」に加入している方で合計277名いるが、一部の方からは「不公平感がある」等の意見をいただいたが、交付目的や概要等について丁寧に説明しご理解をいただいている。市としては両制度に加入することができない、比較的中・小規模の稲作農家を対象としたものであり、限られた財源で総合的に検討し支援を行ったものである。



小林 均

[令和創生の会]

問 児童生徒が安心して学べる通信環境の整備等各家庭の状況に配慮した対応が可能な取組を。

答 財政負担の面で慎重な検討が必要と考える。

問 全ての住民が「かかりつけ医師」に繋がれるための広報活動などの取り組みの強化を。

答 現時点で市内各地に医療機関があり、信頼関係が築かれている。また、3年に1度医療マップを作成し、全戸配布を実施している。

問 「転職なき移住」の実現に向けたテレワークの拡大やサテライトオフィスの整備等に対する総合的

一般質問

デジタル田園都市構想への取組みの推進を子どもたちの夢をはぐくむ天文教育を

な取組について伺う。

答 本社機能移転による固定資産税の軽減や、移住促進住宅取得奨励金支給事業、来てにほんまつ住宅取得支援事業補助等、様々な事業を実施。国・県の助成制度も含めPRしていく。

問 あだたら天文台の活用と天文教育は。

答 児童生徒が天体に興味関心を持ち、主体的に学ぶ授業を目指し、要望があれば活用も支援。

問 専門家を招き、宇宙に関する講演会の開催を。

答 大切なことであり、今後の検討課題とする。

一般質問

市道根崎・野辺線歩道改良は自然休養村管理センター向いに外トイレは

問 現在、施工中である歩道改良計画での全線フラット化の完了の見通しは何時になるか。



答 歩道整備事業については、今現在歩道のない箇所を優先する形であり、国の補助事業の社会資本整備総合交付金の配分に左右されるので、明確な完成年度は申し上げられない。



平栗 征雄

[市政刷新会議]

問 管理センターの再開は難しいのであれば、城山頂上の行き帰りに休憩できる休憩所や待合ベンチ、加えて外トイレを道路向かいに設置できないものか伺う。

答 霞ヶ城公園は、多くの皆様にご利用頂いている。また、本丸付近に公衆トイレがなく散策に不便をお掛けしているが、大型の合併浄化槽が必要となることから経済性や維持管理費等を考慮しながら、最適な公衆トイレなどについて、調査・研究をして参りたい。



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

問 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、濃厚接触者の定義は。また、職場・学校、家庭で感染者が出た場合のPCR検査等の対応は。安達地方に保健所の設置を求める考えは。

答 具体的には、陽性者の同居家族、陽性者とマスクなしで1m以内、15分以上会話した場合に濃厚接触者。同居家族で症状がある場合は、行政検査によるPCR検査。職場・学校での濃厚接触者の場合は、規定に基づく自宅待機。症状が出た場合には医療機関での保険診療となる。保健所の設置を求める考えは持っていない。

一般質問

新型コロナ感染者の定義は来年度の就学援助等の教育の充実は

問 来年度、就学援助費の引き上げが行われるが、市が行う準要保護も同様に引き上げる考えは。

答 市の準要保護への就学援助は、小学校では「新入学児童生徒学用品費等」の単価を3,000円引き上げ、「修学旅行費」は800円引き上げた予算を計上して、父母負担の軽減を行う予定。中学校は、国の単価引き上げがなかった。

問 学校適正規模の今後の計画は。

答 検討会での適正規模に対する考えを早期にとりまとめをいただくことで進めている。

一般質問

コロナ感染症の影響による現状と対策は



熊田 義春
[市政会]

問 3回目となるワクチン接種率と進捗状況は（直近で）。

答 令和4年3月1日現在、国のVRS（ワクチン接種記録システム）上の数値で、18歳以上で2回目の接種を終えた方41,859人に対し、接種者数11,711人で接種率は27.98%である。今現在、予約を希望される方に対し、各保健センター、各支所、各住民センターにおいて、市職員による代行予約を行うなど対応しており、予約、接種希望が取りやすい状況となっている。

問 水田農業改革支援事業の申込件数と反応をどのように捉えているか。

答 本事業の交付対象者は、水稲生産実施計画書に登録されている農業者のうち、収入保険、ナラシ対策に加入している農業者を除く2,206件となっている。申請件数2月25日現在1,753件、交付手続き済み件数は1,647件であり、令和4年産米の作付継続に向け、一定の効果があると捉えている。



佐藤 源市
[市政刷新会議]

一般質問

農業農村の人口減少対策及び事業支援は観光事業誘客への令和4年度の取組みは

問 新規就農者の応募及び受け入れの取組みは。

答 就農希望者の現況、営農計画及び土地の取得状況を聴き取り、活用可能な施策提案や手続きのサポートを行い、受入団体である「ゆうきの里東和」等の各団体と連携を図り支援する。

問 就農者の住宅改修費の支援対策は。

答 移住される方の「空き家改修助成金」等の各種支援制度の活用について今後も相談に応じる。

問 農地改良支援に対する事業取組みは。

答 農地耕作条件改善事業等で今後相談に応じる。

問 誘客、周遊バスの運行及び中島の地蔵桜、羽山果樹観光地の大型バス駐車場の早期整備は。

答 にほんまつ城報館にてイベント等を積極的に開催する。桜の名所号を4月上旬より運行し、大型バスでの来場も増え、支援策を検討する。



大型バス路上駐車の中島の地蔵桜

一般質問

空き家を利活用する方策は スカイピアあたらの運営方針は



坂本 和広
[真誠会]

問 空き家の利活用のために行う住居内片付けやハウスクリーニング費用に対する助成の制度創設の考えについて伺います。

答 財源となり得る国や県の補助制度がないことと、市の財政状況を考えますと、制度創設は難しいと考えますが、実施している自治体もあることから、制度の需要や効果等について研究して参りたい。

問 官民連携による地方創生事業としてスカイピアあたらの価値向上を図る方策の考えは。

答 官民連携について企画力や集客力のある民間事業

者が参入することは、より魅力的な施設構築につながる有効な手段と考えることから、令和5年度以降の運営の在り方を検討するうえで十分考慮して参ります。

なお、「空の湯」と「アクティブパーク」という2つの性格を有する施設運営の在り方について、利用者目線に立ち返り、持続可能な施設として価値向上が図られるように、早い時期に方針を策定したいと考えております。



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

一般質問

転作助成金見直しするなど国に求めては
高齢者の買い物移動販売車による支援を

問 水田に米以外の作物を作付けした時、作物や面積により支払われる助成金が、今後5年間一度も米を作付けしない水田は対象から外すという。長年転作を進めながら畑地化したら交付金カットとは「農家を2階に上げてハシゴを外す」行為である。市長会を通じ政府に「見直しするな」と強く意思表示すべき。

答 東北市長会より国に農業経営継続に向けた要望書を提出しているが、市としても市長会等を通じ要望していく。

問 岩代・東和地域で日常の買い物に不便をきたしている高齢者支援として、移動販売車による支援ができないか。

答 買回り品の販売店舗が減少し、高齢者等に不便をきたしている。市はこれまでの買い物弱者対策としてデマンド型乗合タクシー等の運行のほか、市内事業者が新たに移動販売等を始める際の車両導入費用等について「新ビジネス展開促進事業」で補助の方向で検討している。多くの事業者に移動販売をご検討いただきたい。

議決案を
全会一致で
可決

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

3月3日の3月定例会本会議に、議員提出議案として「ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議」を提出し、全会一致で可決しました。

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

去る2月24日、ロシアがウクライナに軍事侵攻し、隣国の主権と領土を武力で踏みしめる暴挙に出た。既に多数の人の命が奪われている。これは、明らかに国連憲章および国際法に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略であり、断じて許すことができない。また、核の使用をほのめかし、世界を恫喝するなど言語道断である。国際社会が連携し、この非道な侵略国に対して毅然とした対応で臨んでいかなければならない。

よって、本市議会は、ロシアによる前代未聞の暴挙に断固として抗議し、即時の攻撃中止と、完全撤退を求めるとともに、日本政府においては、在留邦人の安全確保に努め、関係各国や国際社会と緊密に連携し、厳格かつ適切な対応をとることを強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月3日

二本松市議会

3月定例会 討論

討論は、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成・反対の意見を表明することをいいます。

議案第18号 令和4年度二本松市一般会計予算

反対

石井 馨 議員

令和4年度一般会計予算にサッカー場建設費が計上されており反対。本市に新たなサッカー場は必要か民主主義のルールに則り問うべき。合併以来様々な施設建設が進められているが、将来の世代に大きな負担を負わせることになる。道路、水道、移動手段の確保、適切な教育環境の整備等を進め、住んで良かった暮らしやすく楽しんで生きることができる社会の構築を目指すべき。議会は行政のチェック機関としての役割を果たすべきである。

賛成

平塚 與志一 議員

令和4年度二本松市一般会計予算につきましては、皆さんご存じのように、二本松市令和4年度を動かす大事な予算案であります。

先ほど反対討論がありましたが、芝生広場整備事業につきましては、平成27年度より何回にもわたって全会一致で議案を可決してまいりました。結果から反対される理由はないと考えます。議案第18号令和4年度二本松市一般会計予算に賛成討論いたします。

議員の皆様の賛同をよろしくお願いいたします。

反対

平 敏子 議員

後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者のみを対象とした世界に例を見ない制度です。75歳以上は病気やケガをすることが多く複数の医療機関にかかり、治療が長期化します。一方、公的年金は10年間で6.8%下がり、医療・介護、消費税、最近では灯油の高騰、食品の価格上昇など生活が厳しさを増しています。このような中、10月から一定程度の所得のある市内約1,800人の医療費が、1割から2割に引き上げる予算となっていることから反対します。

請願第1号 消費税のインボイス制度の実施見送りを求める請願

反対

小林 均 議員

令和元年10月の消費税改正時に食料品等の軽減税率が導入され、令和5年10月よりインボイス制度が施行されることになった。この制度のメリットは①消費税率と税額の正確性の維持②仕入税額控除や経理業務における不正やミスの減少③益税を抑制して消費税納税の公平性の確保の3点がある。免税事業者が取引から排除される懸念については6年間の経過措置が設けられた。公益法人の安定的な事業運営への支援を求め、反対討論とする。

賛成

斎藤 広二 議員

来年10月から小規模事業者やフリーランス等約1,000万人の免税事業者に消費税納税を迫り、コロナで苦境に立つ事業者を追い詰めるもの。商工会議所、中小企業団体、税理士会などから見直しを求める声が上がっている。シルバーセンターの会員も納税義務者になり、売上げ1,000万円以下の農家も納税することに。2020年の企業の休廃業は5万件と過去最大となった。今こそ5%の消費税減税と大企業、富裕層への増税が必要だから賛成する。

請願第3号 「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める請願書

反対

佐藤 運喜 議員

農地面積が限られている我が国を取り巻く背景とその課題の中で食糧自給率の安定向上、水田の有効活用が求められている。近年増加傾向の飼料用米や加工用米などの多様な米の生産振興、さらには、小麦、大豆、子実用トウモロコシ等の海外依存品目について本作化の取り組みが急務である。今後は以上のような高収益作物等に転作した場合の助成制度を手厚くするなど農地と交付金においても、選択と集中が必要であると思われることから反対する。

賛成

菅野 明 議員

政府は22年度から水田活用交付金を、今後5年間1回も水張りをせず水稲の作付けをしない農地は交付対象にしないとの方針。例えば、多年生作物の牧草生産者に10アール3万5千円交付してきたが、22年度からは種まきしない年は1万円に減額する。本市の21年度交付実績は市水田面積の約1割328ヘクタール、金額で3,720万円。今国がやるべきは予算を増やし日本の地域農業と米作りを守ることであり、交付金の見直し中止に賛成する。

3月定例会賛否一覧

(これ以外の案件等は全会一致で可決されました。)

番号	件名	議決結果	市政刷新会議			真誠会			市政会			日本共産党 二本松市議団	令和4年度 創生の会	会派にない議員 加藤 建也	賛成	反対								
			野地 久夫	佐藤 運喜	鈴木 一弘	斎藤 徹	平栗 征雄	佐藤 源市	平塚 與志一	佐久間 好夫	佐藤 有	坂本 和広	堀籠 新一	安齋 政保			小野 利美	熊田 義春	斎藤 広二	菅野 明	平 敏子	本多 俊昭	小林 均	石井 馨
議案第18号	令和4年度二本松市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	18	3			
議案第20号	令和4年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	18	3			
議員提出 議案第2号	消費税のインボイス制度の実施見送りを求める意見書の提出について	原案可決	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	10
請願第1号	消費税のインボイス制度の実施見送りを求める請願	採択	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	10
請願第3号	「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める請願書	不採択	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	13

※○=賛成 ●=反対 退=退席 討=討論がなされた案件 ※議長(本多勝実)は採決に加わっていません。

令和4年第1回(1月)臨時会

1月臨時会は、1月21日に開催されました。提出された議案は、工事請負契約の締結3件と補正予算で、審議の結果、全会一致で原案可決しました。
主な内容は次のとおりです。

◎工事請負契約の締結について

- ・学校施設環境改善交付金事業二本松南小学校校舎長寿命化改良主体工事、同電気設備工事及び同機械設備工事の工事請負契約締結について、議会の決議に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決を求めたものです。

◎令和3年度二本松市一般会計補正予算

- ・国の補正予算に伴う経費及び新型コロナウイルス感染症対策経費について措置しました。

歳出の主なもの

○民生費

- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 5億9,560万円
- ・住民税非課税世帯に対する暖房用灯油購入費等助成事業 1,777万円
- ・民間の特定教育・保育施設等が行う保育士等の処遇改善に対し補助を行う保育士等処遇改善臨時特例事業 463万円

○商工費

- ・感染症拡大の影響を受けた地域経済の活性化を図るための物産振興事業費の増 900万円
- ・感染症拡大の影響を受けた市内中小企業者が取り組む新たな事業展開を支援する商店街等活性化推進事業費の増 540万円

○教育費

- ・小中学校における感染症対策事業費の増 2,250万円

令和4年度重点事業等の市議会説明会

2月10日、当局から令和4年度予算概要や総合計画に掲げる4つの基本目標ごとの重点事業等について説明を受けました。

次年度の市政運営に関し理解を深めました。



みんなで徹底しよう

「三ない運動」

- 政治家は有権者に寄附を **贈らない!**
- 有権者は政治家に寄附を **求めない!**
- 政治家から有権者への寄附は **受け取らない!**

お知らせ

今回の定例会は6月中旬に開会の予定です。
本会議の傍聴は、市役所6階の議場・傍聴者入口からご案内しています。傍聴の際は、マスクの着用など新型コロナウイルス感染対策にご協力をお願いします。

市議会だより、または、当市議会に対するご意見感想をお寄せください。



市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1

TEL 55-5144 (議会事務局)

FAX 22-6047

E-mail gijichosa@city.nihonmatsu.lg.jp



傍聴者の声

深田サロン 菅野 福代 さん

私たち「深田サロン」では、県道沿いの花植えや芋煮会など楽しく活動しておりますが、3月4日に議会傍聴させていただきました。

緊張とわくわく感を感じながら議場へ入り、議会では、議員さんが市内で起きている諸問題について活発に質問され、市長、市の幹部の皆さんたちと議論している姿を見ることができました。

議会傍聴で、立派な議員さんたちに守られ私たち市民があることを感じて帰ってきました。



深田サロンのみなさん

日本大学 吉田 光揮 さん

このたび、NPO法人議員インターンシップ活動の一環として、議会傍聴という他では経験できない貴重な体験をさせていただきました。実際に傍聴してみて、議会の雰囲気や活動内容を肌身で感じることができ、議員の細かな部分への追及やそれに対する受け答えの丁寧さなど、とても勉強になりました。

二本松市で市の抱えている問題点に真摯に取り組む姿を傍聴し、私自身考え方を変えていこうと感じました。



3月4日 一般質問を傍聴されたみなさん

日本大学 川井 海人 さん

今回、NPO法人ドットジェイピーの議員インターンシップの活動の一環として、議会傍聴をさせていただきました。

初めての議会傍聴でしたが、議員の二本松をより良いまちにしていきたいという強い思いを議会を通して感じることができました。

また、私たち若者がもっと政治に関心を持ち、行動していかなければならないと思いました。

福島大学 水間 遥香 さん

今回、議員インターンシップの一環として、二本松市議会の傍聴に参加しました。議会を傍聴するのは初めての経験で、大変勉強になりました。議員さん方の熱意溢れる議論に感銘を受け、二本松市をより良くするには何が必要なのか、考えさせられました。

また、議会では市民に寄り添った詳細な話をされていることを知り、今までより議員さんや政治というものが身近に感じられるようになりました。

福島大学 野呂 彩音 さん

今回が初めての議会傍聴でした。私は二本松市民ですが、住んでいる区域以外のことは初めて知ったことばかりでした。

住んでいる区域に関する問題も、私には思いつかないような視点で議論が繰り返されていくことは、市民としても、客観的なまちづくりとしても、とても勉強になることばかりでした。このような視点を持ち、その解決策を思いつけるようになりたいと、傍聴して感じました。



インターンシップの学生のみなさん

編集後記

台風19号の被害の河川災害復旧はまだ完了していない現状である中、昨年からの新型コロナウイルス感染症が拡大しておりますし、それに加え米価の下落と2年連続の地震被害もあり災害が続いております。また、世界ではウクライナに対し2月24日からロシアの侵略が始まったこの暴挙が全世界に影響をもたらしております。

さて、3月定例会では令和4年度の市予算が可決され、それぞれの事業効果が期待されます。

今後とも、市民の皆さんの幸せ増進のため、議会として全力で頑張っていく決意です。
(佐久間)



編集委員会

委員長
副委員長
委員

堀籠 新一
鈴木 弘一
安齋 俊昭
加藤 多喜也
佐藤 建也
佐久間 好夫